

信頼こそ、
私たちの資産。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

迫りくる経済の乖離と資産価値の見直し



懸念材料をはらんだ欧州や中国の経済と、減速感はあるものの粘り強さを見せる米国経済が表すように、各国経済の乖離は顕在化し、期待収益はそれぞれに異なります。この状況は、インフレ率の上昇に対して、中央銀行が異なる金融政策を推進することに繋がっています。

投資にあたっては、全体的なリスクの抑制を維持したまま、異なる環境の市場からリターンを目指すべきであると考えます。

投資の着目点



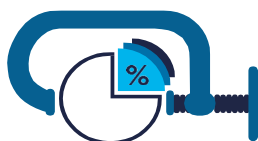
連邦準備制度理事会（FRB）への視線

インフレを抑えるための中央銀行の利上げで国債利回りが上昇、債券価格が下落する可能性があります。しかし、地政学的リスクや景気減速懸念を背景とした安全資産への「逃避」から、利回りは懸念したほどには上がらないでしょう。このため、国債に対して以前ほど慎重になる必要はなく、柔軟な対応が求められます。この点で、米国の債券、特に満期の短い債券は魅力的と考えます。



投資家は米国株式を選好

ロシアのウクライナ侵攻による収益へのインパクトが限定的かつ消費者需要の回復も相対的に高いことから、米国株式が選好されると考えられます。グローバルにも、米国においても、景気に左右されにくく、魅力的なバリュエーションのバリュー株およびクオリティ株は、グロース株よりも高パフォーマンスが期待されます。一方で価格決定力と収益成長も重要で、注視する必要があります。



金利上昇はクレジットへの圧力

金利上昇とFRBのタカ派的な発言が、クレジット市場の重しとなる可能性が考えられます。企業のファンダメンタルズは依然堅調であるにせよ、投資適格債、ハイ・イールド債といった債券には引き続き注意が必要であると考えます。そのため、高品質で流動性が高く、より低リスクの銘柄を選好します。



新興国市場には選別的なアプローチで

短期的には、中国の新型コロナウイルス対応のためのロックダウンによる経済活動の低迷が考えられます。新興国市場は様々な細分化されるため、国内消費（インド）や商品輸出国（ラテンアメリカ）など、それぞれのテーマを中心に、ボトムアップで慎重に分析する必要があることを確認しておく必要があります。

インフレは今後も継続の見込み



インフレは引き続き市場の主要テーマであり、中央銀行の動きのきっかけとなるため、株式市場だけでなく債券市場にも影響を与え、積極的なアプローチを呼び起こします。投資家は、インフレ対応力が高い資産である変動利付債や、高配当でバリューやクオリティを重視した株式などを選好すると考えられます。しかし、将来的にはいくつかのリスクも存在するため、十分な分散投資を行い、幅広い資産クラス（コモディティ、金）に投資できるソリューションに焦点を当て、この環境に応じた投資機会を選好することが重要と考えます。

当資料のご利用に当たっての注意事項等

- ・ 当資料は、情報提供を目的としてアムンディ・アセットマネジメントの作成した資料をもとに、アムンディ・ジャパン株式会社が翻訳した資料であり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報をもとに作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- ・ 当資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会